

令和7年11月27日

報道機関各位

総合政策部DX推進課

「TOHOKU DX大賞2025」特別賞の受賞について

このたび、東北経済産業局が主催するTOHOKU DX大賞2025において、青森つばめプロパン販売株式会社（八戸市）が、特別賞を受賞したのでお知らせします。

記

1 受賞の概要

- ・受賞者：青森つばめプロパン販売株式会社（八戸市）
- ・表彰種別：ビジネスイノベーション部門 選考委員会特別賞
- ・受賞件名：灯油タンクスマートセンサーを活用した灯油配送効率化による事業多様化への対応
※事業の詳細は、別添の応募案件概要を参照

2 県との関連

- ・「令和6年度青森県DX先行モデル創出支援事業費補助金事業」を活用

3 スケジュール

- ・11/27 東北経済産業局プレスリリース（公表済み）
- ・12/ 9 TOHOKUDX大賞2025の表彰式（エル・パーク仙台 スタジオホール）
※青森つばめプロパン販売株式会社を含む受賞者が登壇（表彰・受賞者講演）

報道機関用提供資料	
担当課・ 担当者名	DX推進課 産業・しごとDXグループ GM 徳差 達哉
電話番号	直通 017-734-9418
	内線 3252
報道監	総合政策部次長 田澤 謙吾

- 灯油タンクスマートセンサーを活用した灯油配送効率化による事業多様化への対応
- 企業・団体名：青森つばめプロパン販売株式会社

取組の内容

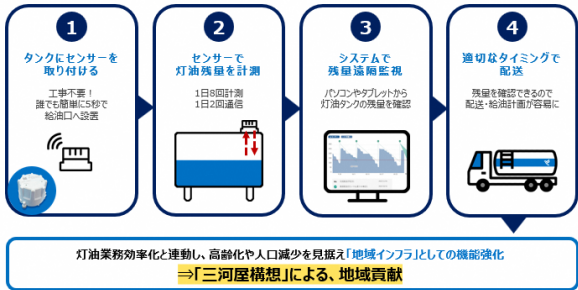
【概要】

(1)背景
灯油配送における自社の課題である、“勘ピュータ”による属人化、人件費や燃料費の高騰、手書きやエクセルによる情報管理の複雑化等をスマートセンサーの導入により解決し業務効率化を行う。

(2) 取組の内容
灯油センサーの設置とGoNowシステムの導入により顧客情報や残量データを一元管理。配送先の残量を事前確認することで配送の効率化を図る。
また、効率化により生まれた時間を有効活用。社内の新たな取り組み「三河屋構想」をもとに、地域宅配サービスやクロスセルを意識した営業活動、新規事業プロジェクト等を実施。新たなニーズを発見し販売事業拡大に繋げていくとともに地域に貢献する。

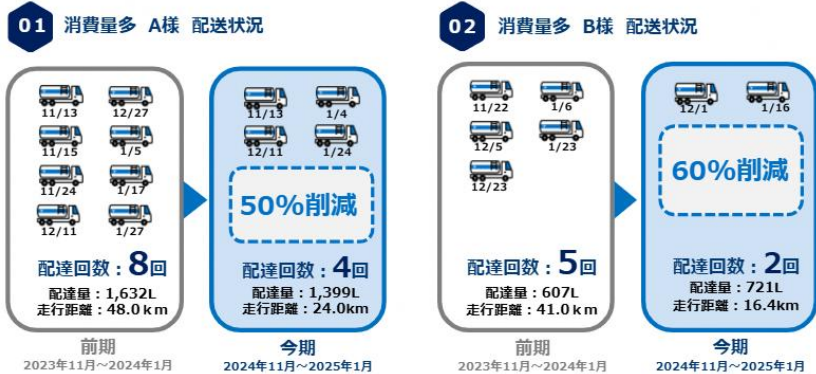
(3)効果等
コスト削減（人件費、運搬コスト）、配送効率化、グラフ変動確認による異常の発見、時間の有効活用

【取組イメージ】



【導入の効果】

本年2月に灯油スマートセンサー設置を完了し、試験運用を開始しました。
前年度比較データの根拠がそろわないことから、効率化が出来た案件をサンプリングし、ご紹介します。



2025 年 11 月 27 日

東北経済産業局

「TOHOKU DX 大賞 2025」の受賞者を決定しました

東北経済産業局は、「TOHOKU DX 大賞 2025」に応募された案件の中から、最優秀賞(2件)、優秀賞(3件)及び選考委員会特別賞(3件)を決定しました。

1. 「TOHOKU DX 大賞 2025」について

東北経済産業局では、東北地域における DX の更なる加速に向け、「TOHOKU DX 大賞」を2021年度より実施しています。

応募いただいた20件の中から、次の2部門において、最優秀賞各1件、優秀賞各2件及び全体から選考委員会特別賞3件を決定しました。

【部門】

◆ ビジネスイノベーション部門:

デジタルやデータをビジネスに活用して売上・利益拡大や生産性向上、組織改革を実現し自社を変革した企業又は団体

◆ ソリューション部門:

デジタルやデータを活用した革新的な製品・サービスを開発・実用化し、社会的課題の解決や利用者への価値創造に資する企業又は団体
地域企業のデジタル人材育成やDXの支援等によって、地域企業の成長に貢献した企業又は団体

【表彰種別】

◆ 最優秀賞(東北経済産業局長賞)

◆ 優秀賞(一般社団法人東北経済連合会 会長賞、東北地域情報サービス産業懇談会(TISA)会長賞)

◆ 選考委員会特別賞

2. 受賞者について

別添 受賞一覧のとおり

3. 表彰式について

TOHOKU DX 大賞 2025 表彰式

・日時:2025 年 12 月 9 日(火曜日)13 時 00 分~15 時 30 分

・場所:仙台市男女共同参画推進センター エル・パーク仙台 6 階「スタジオホール」

(仙台市青葉区一番町 4-11-1 141 ビル(仙台三越定禅寺通り館))

➤ 「TOHOKU DX 大賞 2025」表彰式を開催します

https://www.tohoku.meti.go.jp/s_joho/topics/251127_1.html

表彰式では受賞者による講演も行いますので、ぜひお越しください。

(参考)

➤ TOHOKU DX 大賞 2025 の募集を開始します！;東北地域で DX に挑戦する企業等を表彰

https://www.tohoku.meti.go.jp/s_joho/topics/250625.html

(本発表資料のお問合せ先)

東北経済産業局地域経済部製造産業課情報政策・半導体戦略室

室長 井元

担当者: 浦、岸野

電話: 022-221-4895 (直通)

受賞一覧<ビジネスイノベーション部門>



TOHOKU DX大賞2025

【最優秀賞】（東北経産局長賞）

【優秀賞】（東経連会長賞）

【優秀賞】（TiSA会長賞）

<受賞者>

ムネカタ株式会社

所在地：福島県福島市

<受賞件名>

未来を創る新カイゼン活動DX
～知識循環と人材育成の仕組み化～

<概要>

「やらされ感」のカイゼン活動を「変化に挑む戦略的エンジン」と再定義しDX化。Google Workspaceと生成AIを活用し、「やりがい」を生み「人の知恵が循環する仕組み」を内製。

AI要約・通知、称賛機能が知識共有と意欲向上を促進。運用工数80%削減、時間削減効果283%（予測）を達成、自走するカイゼン文化を実現。



<受賞者>

鈴屋金物株式会社

所在地：宮城県仙台市

<受賞件名>

建設業における1次下請け業者の業務効率、DX化の実現【MADAI BOOSTシステム】

<概要> (P)

建設業界の課題であった業務の属人化、効率化を解消するために、金属工事の業務を効率化する独自の一括管理システム「MADAI BOOSTシステム」を開発し、全業務の可視化と効率化に成功。見積提出件数は年間450件から1,263件へ約3倍に増加、業務習得期間も2年から3か月に短縮し、人材育成と生産性向上に大きく貢献。



<受賞者>

有限会社ながぬま

所在地：秋田県にかほ市

<受賞件名>

見積・受注フローの自動化へ、全員参加で挑む100年企業へのDX

<概要>

AIツールを活用して受注から生産管理までのデータ連携を自動化。図面・作業指示書・完成品写真をクラウドで一元管理し、属人化を解消。これにより、図面処理期間を1週間から1日に短縮し、品質の安定化と生産性の大幅な向上を実現。



受賞一覧<ソリューション部門>

【最優秀賞】（東北経産局長賞）

【優秀賞】（東経連会長賞・TiSA会長賞）

<受賞者>

株式会社舞台ファーム

所在地：宮城県仙台市

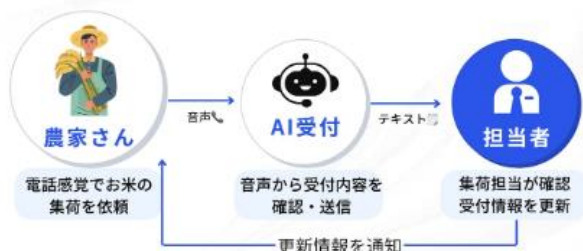
<受賞件名>

AI音声で農業を支える米集荷効率化プロジェクト

<概要>

高齢農家がデジタル化から取り残され、米集荷作業の紙と転記作業が負担となっていた課題に対し、**電話のように入力だけで集荷依頼が完了する仕組みを内製化**。音声認識AIが内容を復唱して正確性を担保し、自動で申請へ反映。現場と開発が改善を即時に回し、数週間で実装。業務時間は大きく削減され、受注処理など他業務への展開も進んでいる。

AI音声で農業を支える米集荷効率化プロジェクト



<受賞者>

株式会社シグマソリューションズ

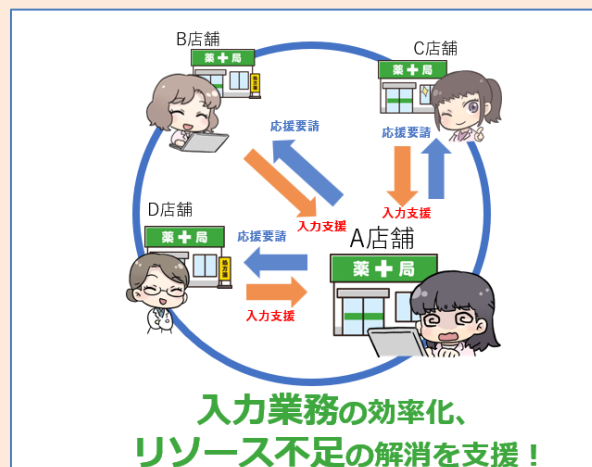
所在地：秋田県秋田市

<受賞件名>

処方箋スクラム入力で薬局の働き方に改革

<概要>

クラウド連携により、薬局チェーン間で処方箋入力をリモート支援できる仕組みを構築。急な欠勤や移動負担の軽減に対応。リソースの最適化と生産性を両立する新しい薬局運営の仕組みにより、働きやすい環境づくりや人材確保に貢献。



受賞一覧＜選考委員会特別賞＞

ビジネスイノベーション部門

＜受賞者＞

青森つばめプロパン販売株式会社

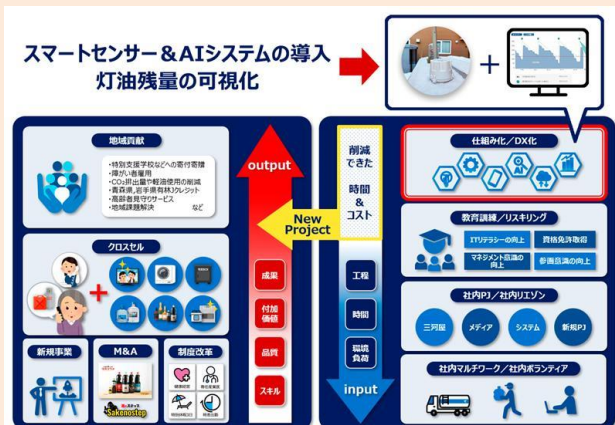
所在地：青森県八戸市

＜受賞件名＞

灯油タンクスマートセンサーを活用した灯油配送効率化による事業多様化への対応

＜概要＞

灯油タンクスマートセンサーと配送管理システムを導入し、残量データに基づく効率的な配送を実現。配達員の負担軽減や燃料費削減に加え、CO₂排出量も低減。空いた時間を活用し、業務最適化、人材や経営資源の有効活用により事業多様化を推進。



ビジネスイノベーション部門

＜受賞者＞

株式会社イズミテクノ

所在地：宮城県黒川郡大衡村

＜受賞件名＞

つながる社内、伝わる社会。データが育てるインナーブランディング

＜概要＞

RPAと生成AIを組み合わせ、売上・不具合・電力使用量・業界ニュースなどを自動収集・表示するデジタルサイネージを導入。現場の情報をリアルタイムに可視化し、社員のエンゲージメントと一体感を醸成。残業時間や管理工数を大幅に削減し、透明性ある情報発信が採用広報やブランディングにもつながり、選ばれる企業へと進化。



ビジネスイノベーション部門

＜受賞者＞

リコーインダストリー株式会社

所在地：宮城県柴田郡柴田町

＜受賞件名＞

ゼロベース発想×デジタル活用で実現した安全衛生活動DX化

＜概要＞

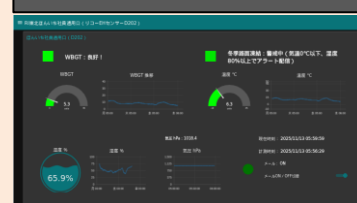
安全衛生活動で人が行う「3M(面倒・マンネリ・ミスできない)」業務を解消するためAIとIoTを活用した24時間無人安全監視プラットフォームを構築。ながら歩きなどの行動や熱中症・路面凍結を常時検知し、人作業を年間951時間削減と安全・生産性向上を実現。

24時間無人安全監視プラットフォーム

ながら歩き検知



熱中症・路面凍結警戒検知



階段駆け下り検知



警戒区域映像ライブ配信

